

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	健康増進事業		
事業担当	健康・こども部 健康課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	健康増進法		
対象・受益者	20歳以上の市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 医師】		
	目的・目標		事業の概要
生活習慣病の予防により、市民の健康増進が図られています。		生活習慣病の予防のため、知識の普及・啓発を目的とした健康教室を開催します。また、病気の早期発見とその原因となる生活習慣の改善のため、各種健(検)診を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	健康教室の開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	100	100	100	100	
	実績	104	99	108		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	がん検診受診者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	36700	41000	43000	45000	
	実績	39841	40706	41743		
成果指標②	指標名	がん検診受診率			単位	%
	説明・算定式	受診者数÷延べ対象人数×100				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	16	16	16	16	
	実績	13.4	13.7	14.1		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>がんの早期発見と正しい健康意識の普及・啓発のため、平成24年度に引き続き「がん検診推進事業」や保健センターでパネル展示等を実施しました。また、健康教育では女性の健康づくりとして、子宮がん・乳がんについて知識の普及啓発等を行いました。そして、乳幼児連れで安心して受診できるよう、集団検診会場で保育実施の日を6日設けました。さらに、企業を訪問し従業員に対し健康講座を実施しました。これらの結果がん検診の受診者数は増加しました。</p>						
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	健康増進法に基づく事業であるとともに、勤務先等で受診機会のない市民に対し、実施の必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を行うことにより、健康や疾病予防への意識を高めることができることから、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	適正な受益者負担や対象者、条件を含め検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	集団検診の民間委託の可能性や一部集団検診でのみしか実施していない事業形態を再検討しコスト削減等に取り組む必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 がんの早期発見のために、受診者数向上への取組みが必要です。また、国により検診方法等の見直しが検討されています。より受診しやすい環境を整えるため、こうした見直しにも迅速な対応が求められます。さらに、高齢者の受診増加が予想されるため、負担金免除の基準や受益者負担金の見直しも必要になります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施
財源内訳	国庫支出金	21,539	17,488	11,612	8,106
	県支出金	7,796	7,484	7,430	5,556
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	240	108	124	468
	一般財源	170,859	197,019	215,149	227,126
事業費 (A)		200,434	222,099	234,315	241,256
執行率 (%)		94.12	96.38	95.31	
内訳	職員 (人)	6.35	5.70	6.10	6.75
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		51,461	45,686	48,483	52,738
フルコスト (A+B)		251,895	267,785	282,798	293,994

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 保健総合管理システムを活用し、未受診者への対応等、受診率向上に向けて市民周知の工夫、実施方法等の見直しを引き続き検討します。
課長コメント 平成24年度に引き続き実施したがん検診推進事業や保育実施の効果もあって、受診者数が増加しました。今後も、市民、特に未受診者や継続して受診していない人への周知の工夫等、受診者の増加へつなげる方策を検討していくことが重要であると考えます。